



加計塚小だより

令和2年度

第 7 号

渋谷区立加計塚小学校

学校だより

11月号

耳を傾けること

校長 近藤 新太郎

爽やかな秋空の下、10月31日、体育発表会を開催いたしました。

「よっちょれソーラン」かわらしくもキレのある踊り。1・2年生のかけ声が響き渡りました。
「you make shibuya」のポップなダンス。飛び跳ねる様に踊る3・4年生が輝いていました。
「フラッグダンス・ONE」心と動きが1つになることの美しさを5・6年生が表現しました。
「かけっこ・短距離走」腕を振り、ゴールまで駆け抜ける子供たち。全力を出して走りました。
『コロナ禍を吹き飛ばせ!』との子どもたちの思いが、青空を突き抜けました。

人数の規制をさせていただき中、多くのご家庭にご来校をいただきました。心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

私たちの顔には、目と耳が2つずつあります。でも、口は1つしかありません。人と会話をするとき、しゃべることも大切だけれど、相手の顔をよく見て相手の話をよく聴くことが大切である、そんな意味があるのかもしれない。

「耳を傾ける」ことを「傾聴」といいます。「聴」の文字の中には、耳・目・心の3つが入っています。話を聴く時は、相手の目や表情をよく見ながら、耳でじっくりと聴き、心で受け止めるべきである。まさに、話を聴くときの極意が示されている言葉です。

私は子どもの声に耳を傾けることを心がけています。子どもたちからいろいろな声が聴こえてきます。

「今、少し困っていることがあるんです。」

「大きくなったら、科学者になりたいな。」

「助けてあげたいお友だちがいます。」

どの子にとっても、心の声を聴いてくれる人の存在は欠かせません。ゆっくりじっくりと話を聴いてもらうことで、心の中に安心と希望が広がります。

聴く人と語る人の心がつながれば、そこに幸せが生まれます。

更けゆく秋の夜、ひとときテレビの音を消し、お子様と語らいの時をおもちください。

加計塚小の木々が色づき始めました。私の大好きな童謡「もみじ」の1番を載せます。目をつむり、景色を思い浮かべてみてください。

「秋の夕日に照る山もみじ 濃いも薄いも数ある中に

松をいろどるかえでやつたは 山のふもとの裾もよう」

1 1月の行事予定ー

1	日	体育発表会予備日
2	月	振替休業日
3	火	文化の日
4	水	安全点検・指導 給食なし4時間 (体育発表会予備日のため)
5	木	
6	金	マーチング5・6年
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	土曜時程(給食あり)
12	木	
13	金	委員会活動
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	なかよし班遊び
19	木	避難訓練
20	金	クラブ活動
21	土	
22	日	
23	月	勤労感謝の日
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	合同陸上記録会6年 5・6校時
28	土	
29	日	
30	月	

11月の生活目標

健康な体をつくろう

体育発表会という大きな行事も終わり、落ち着いた生活を送りたいところです。秋も深まりだいぶ寒くなってきました。寒さになれない季節は風邪もひきやすく、また乾燥する季節になりましたので、ウイルス性の感染症も拡大しやすくなります。

マスクや手洗いの継続はもちろんのこと、やはり免疫力を高めて感染しにくい健康な体をつくるのが大切です。睡眠、栄養、休息、適度な運動など、基本的なことをもう一度見直しましょう。

5年生 校外学習稲刈り

10月15日(木)に稲刈り体験に行きました。天気が心配されましたが無事に実施することができました。鹿島農園で作業の説明を聞いた後、稲を刈る、束ねる、干す作業に取り組みました。順調に稲を刈るも、思った以上に束ねることが難しく苦戦していましたが、友達と協力することで、上手に束ねられるようになり、時間内に全行程を終えられました。事後の学習では「農家の方の苦労が分かった。」「日本の食を支える作業に関われた気がする。」といった声が挙がり、コロナ禍で制限がある中での貴重な学びとなりました。末筆ですが、ボランティアとしてご協力いただきました保護者の皆様に御礼申し上げます。

6年生 国会見学

10月1日に国会議事堂衆議院の見学に行きました。コロナの影響で見学する学校が少なく、この日は加計塚小の6年生だけで、ほぼ貸切状態でした。おかげでじっくりと政治の中心地を見学することができました。

また、現役議員さんのお話を聞くこともでき、政治に興味・関心をもつことができたと思います。



6年生 11月27日(金)

合同陸上記録会

場所：本校校庭

時間：5・6時間目

長谷戸小の6年生をお招きして、陸上記録会を行うことになりました。ガンバレ、6年生！

しらうめの部屋

コミュニケーションの基本「話す聞く」

しらうめでは「話す聞く」活動を「スピーチ」「話し合い」等の形で行っています。「スピーチ」では最初は話すことが無いと言う子供もいますが、聞き手がうなずきや質問をしたりすることを繰り返すうちに、相手を意識したスピーチが出来るようになってきます。「話し合い」では、自分の考えを言うこと、聞く方は「はい」「いいえ」を答えること等を具体的に教え、ジャンケンではない方法で一つの結論を出す練習を行っています。両方の活動で感じることは、聞いているということを相手に伝えることの大切さです。そのことによって、話す意欲はぐんと高まることを感じます。